

Veni Domine

クリスマスはイエスの誕生日です。

もしも、私たちのおうちに赤ちゃんが生まれるとしたら、
どんな気持ちでしょうか？

布団やおむつを準備して、待ちます。

そして、「男の子かしら？」「女の子かしら？」

「名前はどのようなかしら？」

2000年前のマリアさまとヨセフさまも、きっと、
悩みながら、迷いながらそのときを待っていたことでしょう。

「神にできないことは何ひとつない。」
「わたしは主のはしためです。お言葉どおり
この身になりますように。」





「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを
迎え入れなさい。」

ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。



宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。





マリアは月が満ちて、初めての子を産み、
布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。

初めての子を馬小屋で産むマリア
かいは桶に寝かされた赤ちゃんのイエス
馬小屋をやっと見つけたヨセフ

それぞれの気持ちを考えてみましょう。

このような状況のなかでも、
マリアやヨセフに不平や不満の気持ちはなく、
救い主の誕生の喜びで満たされていたのでした。

今日ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった。これがあなたがたへのしるしである。



さうぞうの上を歩いていた



そして急いで行って、マリアとヨセフ、また
飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。



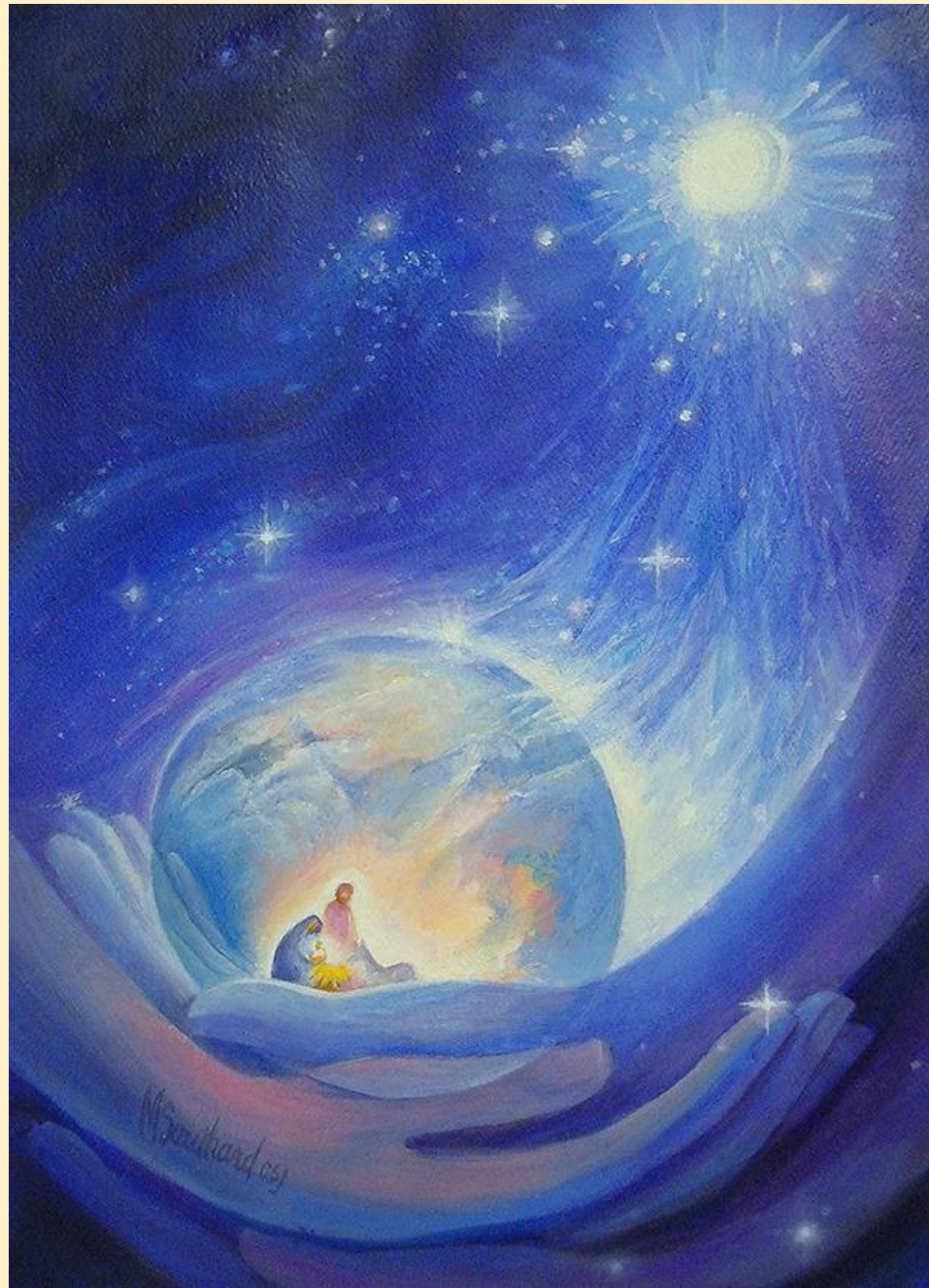
学者たちはその星を見て喜びにあふれた。



彼らはひれ伏して拝み、宝の箱を開けて、黄金、
乳香、没薬を贈り物として捧げた。

この世で生きる人たちが、この世の苦しみや悲しみを乗り越え、喜びに満ちた人生を生きるために、神さま自身が人間になって、この世にお降りになったのが、「クリスマス」です。

じっと、やさしい気持ちで、自分の心を味わってみましょう。



【参考資料】

文 三宅みち 絵 かかし座

『新約聖書シリーズ1 みんなのくりすます』

中央出版社 1986年

制作 聖心会 みこころセンター

2019年12月